

平成 27 年 3 月 19 日

総務省 情報通信審議会 情報通信技術分科会
「第 3 回 技術戦略委員会」開催にあたっての意見提出

KDDI 株式会社
取締役執行役員常務
内田義昭

本日は、所用によりやむを得ず欠席させていただきますことを、お詫び申し訳上げます。第 3 回委員会に関して、下記の通りコメントさせていただきます。

議論テーマ

産学官連携、国際連携、人材育成等の推進方策

産学官連携・国際連携・人材育成の推進方策について

当社は、世界のすべての人々が情報通信の恩恵が受けられるように、海外研修生の受け入れと、途上国への通信ネットワーク構築支援の技術者派遣を行っています。これまで JICA 等を通して研修生を受け入れ、国際ネットワーク運用センターにおいて日本水準の高いオペレーションの教育・訓練等を実施してきました。

同様に、NICT のプロジェクトを国際連携・人材育成のプラットフォームとして活用した、技術の海外展開が可能ではないでしょうか。例えば、海外の研修生を研究プロジェクトで構築する最先端ネットワークの短期的な課題である実践的な運用に携わってもらうことで、中長期的には、技術成果の海外展開に繋がっていくと考えます。さらに、多様な視点を持つチームが構成できるため、途上国が持つ社会課題を解決するようなグローバル視点の新しい研究テーマを発見する期待も持てます。

さらに、途上国への最新技術の成果展開に関しては、標準化戦略が重要と考えます。日本は世界の最先端を走っていたこともありますが、現状では、ビジネスモデルを海外に展開する部分に課題があると認識しています。グローバルな競争の時代においては、上記のような取り組みによって、途上国に受け入れられるビジネスモデルについての知見が得られると考えています。

以上